

会

報

社団法人 日本病理学会
 〒113-0033
 東京都文京区本郷2-40-9
 ニュー赤門ビル4F
 TEL: 03-5684-6886
 FAX: 03-5684-6936
 E-mail jsp@ma.kcom.ne.jp
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第208号

平成17年(2005年)5月刊

1. 倫理委員会報告

平成17年度第1回倫理委員会は、平成17年4月14日に開催された。会議では、平成16年9月27日(平成16年度第3回)、平成17年3月22日(第4回・内部委員のみ)に続いて懸案事項であった「病理検体の帰属(保管・管理・利用)」に関する取扱いを中心に種々審議を行ってきたので、報告いたします。

[なお、この結果は、昨秋、「患者に由来する病理検体の保管・管理・利用に関する見解」(中間報告;16年12月)(案)を、また、今春、「同見解」(17年4月)(案)をそれぞれの時点で理事会に提案し、承認を得ています。]

◇平成16年度第3回～第4回、平成17年度第1回の会議の出席者および審議概要は、以下のとおりです。

○第3回:9月27日(月) 於; 学士会分館(東京)

出席者: 井藤久雄(委員長), 増井 徹, 中島みち, 岡崎悦夫, 斉藤 建, 武村民子, 堤 寛, 宇都木 伸(以上委員), 森 茂郎(理事長), 海老澤達也(事務局)
 議 事:

1. 前回議事要旨を承認した。前回に引続き、「見解(案)」および「承諾書(モデル)」等に関して審議し、まとめた。文言調整等の後、理事会に提出することにした。

2. 「病理検体の保管・管理・利用に関する日本病理学会倫理委員会の見解」の適応範囲について

委員長から、「本見解」を細胞診断、生検および手術に由来する検体を対象とし、病理解剖から得られた検体には適応しないことの提案があった。後者は「死体解剖保存法」や「病理解剖指針について(通知)」等により規定され、承諾は遺族から得る等の相違がある。

検討の結果、これを承認し、見解の中に記載することとなった。

3. 「見解」の修正について

内部委員のみで検討した「見解(札幌修正案)」について、井藤委員長から説明があった。内容に大きな変更はないが、委員から以下の指摘があり、修正することとなった。

① 全体の構成を変更し、結論を「議論の前提」の前に

記載する。

② 「前回の見解」との変更点を明確にするため、前文のなかに、平成14年度の提示した以下の「見解」を記載する。

「病理組織診断終了後の臓器・組織あるいは顕微鏡標本は患者本人に帰属する。従って、返却を求められた場合は、それに応じる必要がある。」

③ 病理検体を用いた研究は、その重要性に鑑み、今後とも積極的促進されべきであることを明示する。

④ 病理検体を病理業務の精度管理や医療監視に用いることは、目的外使用にあたらぬ。

⑤ その他、若干の文言を変更した。

4. 「病理解剖に関する遺族の承諾書(モデル)」の見直し
 平成13年11月に提示した「病理解剖に関する遺族の承諾書」の見直しを行った。委員から「承諾書」は、遺族の視点にたって考えること、説明が細かくなると理解や対応がしにくくなることが指摘された。

変更点は、以下のごとく要約される。

① 死亡者 → 亡くなられた方のお名前。

② 医学教育、学術研究、研究発表、ゲノム・遺伝子解析研究の扱いをまとめた。

③ 「上記の承諾事項に異議があれば、いつでも変更できます。」の記載は実際には意味がなく、削除した。委員から病理解剖が終了し、一定の時間が経過した後は、実質的に変更はできないことが指摘された。

④ 承諾者の「印・捺印」を削除した。解剖承諾時にご遺族が印鑑を有していることは、むしろ稀である。自筆で替える。

⑤ 遺族にとっては、解剖されることの事実が重要であるので、下記にいては活字を大きくする。

「上記の遺体が死体解剖保存法(昭和24年法律204号)の規定に基づいて病理解剖されることを承諾いたします。」

「特記事項: (脳解剖の是非、ご遺族の希望等を記載)」

「病理解剖に関して上記の説明を受け、承諾しました。」

5. その他

- ① 病理検体の帰属に関しては、今後も検討を加える。
- ② 個人情報保護法に対応する議論を深める必要のあることが同意された。
- ③ 見解は日本病理学会会員に周知するだけでは不十分であり、他学会にもアピールする必要があることが指摘された。この件に関しては理事長と委員長に一任することとなった。

○第4回：平成17年3月22日（火） 持回り委員会

参加者：井藤久雄（委員長）、増井 徹、中島みち、岡崎悦夫、斉藤 建、武村民子、堤 寛、宇都木伸（以上委員）、森 茂郎（理事長）

議 事：

1. 前回議事要旨を承認した。
2. 委員長から、「患者に由来する病理検体（細胞診、生検組織診および手術に由来する検体）の保管・管理・利用に関する見解（中間報告）（案）」後の修正案を各委員に提示し、意見を求めた。この結果を参考にしてまとめ、理事会へ提案することにした。
3. 「病理解剖に関する遺族の承諾書（モデル）」は、前回承認済み事項であるが、文言整理の上、理事会に提出することになった。
4. 外科関連学会ワーキンググループのあり方や議論の進め方について、意見交換を行った。次回でも審議することにした。

○平成17年度第1回：4月14日（木） 於；パシフィコ横浜

出席者：井藤久雄（委員長）、岡崎悦夫、斉藤 建、武村民子、堤 寛（以上委員）、森 茂郎（理事長）、海老澤達也（事務局）

議 事：

1. 今回は学会内部委員のみの委員会であり、次回で外部委員同席の委員会最終確認を行うことにした。
2. 「見解」の変更・加筆
平成16年11月に提示した「患者に由来する病理検体（細胞診、生検組織および手術に由来する検体）の保管・管理・利用に関する見解（案）」については、一般会員あるいは倫理委員会委員に意見を求めていたが、委員から意見が寄せられた。そこで、委員長と堤委員とで検討、さらに常任理事会での協議を経て、以下の加筆・修正を行った。
 - ① 議論の前提5.：（「症例報告における患者情報保護に関する指針」、平成13年11月26日）を加筆。
 - ② 日本病理学会への提案2.：「3年間」を「一定期間」に変更。
 - ③ 日本病理学会への提案3.：文意を変更することな

く、文章に加筆。

- ④ 日本病理学会への提案4. 1)：「病理標本」を「ブロック」に変更。

説明後、委員の承認を得た。

なお、委員から病理検体の所有権あるいは返還請求権についての議論を深めるべき、との指摘があり、所有権を病院に委譲することの可能性を含め、今後の検討課題とした。

3. 外科関連学会協議会との協議

日本病理学会が提案し、外科関連学会協議会が検討している「患者の病理検体（生検・細胞診・手術標本）の取扱い指針（案）」について、これまでの経緯を説明した。

なお、ワーキンググループはこれまでに2回開催されており、井藤委員長と堤委員が参加した。

指針（案）の内容を検討したところ、概ね妥当との見解が一致した。なお、今後、外科関連学会協議会に参加している各学会に指針（案）を環流し、検討が進められる。

4. 個人情報保護法との関連

個人情報保護法と倫理委員会が検討する事項との整合性を早急に検討すべきである。特に、以下の2点を検討することを合意した。

- ① 個人情報保護法に沿った本来的病理業務と目的外業務の明確化、特に教科書執筆や症例報告におけるルールづくり。
- ② 個人情報保護法に明記された包括的同意と承諾書のあり方に関する検討。特に、学術研究における同意のあり方を再検討する。

なお、同意書のあり方（モデル）を新たに提示する必要性が指摘された。

5. その他

- ① 広島大学、井内教授から「手術で摘出された肝臓から非病変部肝組織を採取し、学外の組織バンクに提供する」倫理審査について、本委員会の見解を求められた。協議の結果、委員長から留意点について口答することにした。
 - ② 斉藤委員が2005年4月から名誉会員となるため、委員を辞退する旨、表明された。しかし、これまでの議論の推移を理解し、また、病理解剖検体に関する議論が残っていることから、オブザーバーとして倫理委員会に出席を求めることが委員全員一致で了承された。
2. 「患者に由来する病理検体（細胞診、生検組織診及び手術に由来する検体）の保管・管理・利用に関する見解」について

このことに関して、あらたに「見解（平成17年4月）」をまとめましたので、ここにお知らせいたします。

患者に由来する病理検体（細胞診、生検組織診及び手術に由来する検体）の保管・管理・利用に関する見解

平成 17 年 4 月
社団法人日本病理学会
理 事 会
倫理委員会

病理学は、医療の精度管理のみならず、医学研究の促進、医学教育において重要な役割を果たしている。病理部門には、細胞診断、生検あるいは手術から得られた検体が保管されている。病理医は、高い職業倫理観とプロフェッショナルとしての高度な業務遂行能力を発揮し、これら病理検体を整理・保管し、適切利用に供する責務を有している。

日本病理学会は、平成 14 年度に以下の見解を提示した。「病理検体の保管は、患者の尊厳とプライバシーが保護される形でなされなければならない。これらの配慮は、診断書、顕微鏡標本、パラフィン・ブロックあるいは肉眼写真についてもなされる必要がある。

なお、病理組織診断終了後の臓器・組織あるいは顕微鏡標本は、患者本人に帰属する。従って、返却を求められた場合は、それに応じる必要がある。」

「生命倫理」や「医の倫理」は、時代や社会の変遷により変化するものであるが故に、絶えず検証・評価を重ねる必要がある。このため、日本病理学会倫理委員会では、外部委員を加え、検討を重ねた。その結果、現時点における病理医の医療における任務、社会に対する責務を考慮すると、平成 14 年度見解は必ずしも適切とは見なし得ないとの結論に達した。

現時点では、病理検体（細胞診、生検および手術に由来する検体）の保管・管理・利用に関し、以下の如く思慮される。

「検体由来者である患者やその家族から病理検体の全部あるいはその一部の返還要請があったとしても、正当な利用や適切な管理が担保されない限り、返却・譲与すべきではない。医療機関あるいは病理医としての業務遂行、すなわち病因と病態の解明に支障が生じ、加えて、公序良俗に反する可能性が否定できないからである。」

【日本病理学会倫理委員会における議論の前提】

1. 本見解は、細胞診断、生検および手術に由来する検体を対象としており、病理解剖から得られた検体には適用しない。

2. 病理検体を以下の 2 群に区分けして議論を進める。

病理臓器：未固定および固定された細胞、組織、臓器であり、病理部門でさらなる加工が加えられていない（凍結ブロックを含む）。

なお、病理臓器は、感染性廃棄物として取り

扱われる。

病理標本：病理部門で加工された全ての標本を含む。これには電子顕微鏡/パラフィン・ブロック、プレパラート、肉眼・顕微鏡写真などを含む。

3. 「病理臓器」および「病理標本」を医学教育、病理業務の精度管理あるいは医療監視（medical audit）に利用することは、本来の病理業務であり、目的外使用にあたらないうが、社会の理解を得る不断努力が必要である。

4. 病理検体を用いた研究は、日本病理学会理事会が平成 12 年 11 月に提示した如く、その必要性、重要性に鑑み、今後も積極的に促進されるべきである。なお、全ての臨床研究が倫理審査の対象となるが、適切な手続きを経る限り、研究を阻害するものではない。

5. 症例報告のあり方に関しては、既に日本病理学会として指針（「症例報告における患者情報保護に関する指針」、平成 13 年 11 月 26 日）を提示しており、原則として倫理審査の対象としない。

6. 病理検体の保管・管理・利用に関する諸問題に関しては、倫理委員会から日本病理学会に問題提起し、会員が認識や見解を共有した後、それを社会に発信し、その反応を勘案しながら、学会としての見解を公にすべきである。

【倫理委員会における議論と日本病理学会への提案】

1. 「病理臓器」は、病理診断が確定した後には検体由来者や家族などから返却要請があった場合、正当な理由があれば、返却することがありうる。

2. 病理診断に用いられた「病理標本」は、保険医療機関及び保険医療費担当規則（昭和 32 年 4 月 30 日）に規定される「診療に関する諸記録」と見なすべきであって、一定期間、病院ないし施設で保管の義務を有するものと考えられる。従って、検体由来者や家族などの返却要請があったとしても、必ずしも返却の義務は負わない。

3. 「病理臓器」、「病理標本」は、何れも検体由来者や家族から病院長もしくは施設長が「信託（trust）」を受けており、適正に管理する義務を負うと思慮される。管理責任者である病理医は、二者を不適当に（恣意的に）用いることは許されない。

4. 信託を受けるには、検体由来者あるいは家族や代諾者から書面による承諾が必要である。

承諾書には、

- 1) 「病理臓器」は一定期間、ブロックは半永久的に保管されること、
- 2) 医学教育や病理業務の精度管理の他、医学研究にも使用すること、
- 3) ゲノム遺伝子解析研究に利用する際にはヒトゲノム遺伝子解析研究に関する倫理指針に規定された倫理委員会の審査を別途受けること、

などを明記する。

参考：保険医療機関及び保険医療養担当規則(昭和32年4月30日)

第九条：保険医療機関は、療養の給付の担当に関する帳簿及び書類その他の記録をその完結の日から三年間保存しなければならない。ただし、患者の診療録にあっては、その完結の日から五年間とする。

3. 病理専門医資格更新者氏名

第2回 認定 106名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

316	杉山 武敏	381	藤澤 泰憲
319	衛藤 光明	382	笠島 武
320	小林 省二	384	杉山 喜彦
321	重松 秀一	391	田中 貞夫
322	大拙 祐治	393	赤木 忠厚
323	田中 順一	397	斎藤 建
325	神山 隆一	398	手塚 文明
326	桑原 紀之	400	村上 俊一
327	早川 欽哉	401	森 茂郎
329	中村 宣生	405	小坂井 守
330	杉原 甫	407	鳥潟 親雄
331	谷村 晃	409	小池 盛雄
336	坂元 吾偉	410	高橋 敦
337	水島 睦枝	415	佐藤 方信
339	廣川 勝昱	418	鈴木 慶二
341	小出 紀	420	虎頭 廉
342	森松 稔	421	元井 信
343	小川 勝洋	424	円山 英昭
346	松井 克明	427	渡辺 英伸
349	矢谷 隆一	428	渡辺 駿七郎
352	中西 功夫	431	河合 紀生子
354	長嶋 和郎	432	藤田 昌宏
355	金子 博	433	辻 浩一
357	小西 二三男	434	井上 和秋
358	宮山 東彦	435	真柄 直郎
359	村尾 烈	436	城下 尚
361	成松 英明	437	国島 睦意
362	高橋 道人	439	佐藤 利宏
365	高山 昇二郎	440	河上 牧夫
366	岡田 茂	442	須田 耕一
369	高沢 博	444	松山 勉
373	森 浩志	446	吉木 敬
374	斎藤 謙	447	三浦 妙太
380	町並 陸生	449	下川 邦泰

451	吉田 春彦	488	名倉 宏
452	岡村 明治	489	秦 順一
453	松原 藤継	490	五明田 亨
455	花井 淳	492	並木 真生
456	石原 得博	494	津田 暢夫
457	松本 一仁	495	梶原 博毅
458	竹内 廣	497	岩政 輝男
460	下田 忠和	499	高橋 潔
462	岩田 康	501	原 満
467	倉田 明彦	502	小林 庸次
469	岡本 司	503	山際 裕史
471	丹下 剛	504	豊田 博
475	社本 幹博	505	江崎 行芳
478	市島 國雄	509	若狭 治毅
479	林 弘太郎	510	北川 知行
481	中島 伸夫	514	板橋 正幸
485	中村 俊彦	515	岩田 隆子
486	日浅 義雄	516	杉崎 祐一
487	松本 道男	520	秋間 道夫

第7回 認定 27名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

1175	入江 宏	1197	北條 洋
1176	酒田 昭彦	1198	星 和栄
1177	加藤 良平	1199	森住 啓
1178	藤林 真理子	1200	大秋 美治
1179	九島 巳樹	1201	芹澤 博美
1180	中村 智次	1203	山崎 一人
1182	西川 秋佳	1204	吉田 利通
1184	植田 初江	1205	溝口 良順
1186	菊地 文史	1206	脇本 譲二
1187	岡 輝明	1207	松能 久雄
1188	池田 洋	1208	斉藤 昌宏
1191	野田 雅俊	1209	川野 潔
1195	吉河 康二	1210	越川 卓
1196	埴岡 啓介		

第12回 認定 45名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

1446	長沼 廣	1453	渡辺 宏志
1448	茅野 秀一	1454	菊地 泰
1449	上野 浩	1455	廣田 誠一
1450	伏見 博彰	1457	桑島 良夫
1451	五十嵐 俊彦	1459	細 正博
1452	上出 利光	1460	佐野 健司

1461 新井 栄一
 1462 清水誠一郎
 1463 清水 健
 1464 赤坂 喜清
 1466 石井 恵子
 1468 清水 禎彦
 1470 佐藤 郁郎
 1471 丸山 博司
 1472 米原 修治
 1473 野沢 佳弘
 1474 神谷 増三
 1475 石倉 浩
 1476 丸山理留敬
 1477 新井 富生
 1478 長坂 徹郎
 1480 安井 弥
 1481 新野 史

第17回 認定 57名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

1752 久岡 正典
 1753 石澤 貢
 1754 黒岩 俊彦
 1755 河野 眞司
 1756 中正 恵二
 1757 豊國 伸哉
 1758 嵩眞 佐子
 1759 加島 健司
 1760 黒田 雅彦
 1761 中村 泰行
 1763 田島 康夫
 1764 高橋さつき
 1765 三代川斉之
 1766 大河原 進
 1767 伊藤 真文
 1768 坂口 伸樹
 1769 保坂 直樹
 1770 野村 浩一
 1771 山口 岳彦
 1772 藤野 雅彦
 1773 八反田洋一
 1774 仙崎 英人
 1775 中山 宏文
 1776 木口 英子
 1777 森下由紀雄
 1778 岸本 光夫

1482 下釜 達朗
 1484 鈴宮 淳司
 1486 増田 昭博
 1487 横瀬 智之
 1488 三宅 敏彦
 1489 佐藤 孝
 1490 藤本純一郎
 1491 堀江 靖
 1492 伊東 正博
 1493 角田 幸雄
 1494 川瀬 義久
 1495 山根 哲実
 1496 清水 健
 1499 伏木 信次
 1500 渋谷 和俊
 1501 田中 文彦

1779 斎藤 敦子
 1780 金井 弥栄
 1781 山口 佳子
 1782 佐々木 學
 1783 遠藤 泰彦
 1784 大村 光浩
 1785 鴨志田敏郎
 1786 片岡 寛章
 1787 黒瀬 顕
 1788 樋上 賀一
 1789 山田 鉄也
 1790 小坂 裕之
 1791 矢島 幹久
 1792 内藤 善哉
 1793 松本 光司
 1794 田中 道雄
 1795 竹田 雅司
 1796 前倉 俊治
 1797 降幡 睦夫
 1798 木村 雅友
 1799 内海 康文
 1800 宍倉 有里
 1801 足立 史朗
 1802 真崎 武
 1803 中村 哲也
 1804 大澤 政彦

1805 今井 幸弘
 1806 大慈弥悠子
 1807 楠美 嘉晃

1808 佐々木 毅
 1809 鈴木 康彦

第22回 認定 67名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

2091 黒田 直人
 2092 村田建一郎
 2093 大井 恭代
 2094 金綱友木子
 2095 田村 智美
 2096 本田 由美
 2097 齊藤 啓
 2098 伊藤 浩史
 2099 羽場 礼次
 2100 今井 康雄
 2101 大谷 紀子
 2102 塚本 哲
 2103 渡辺 純
 2104 笹島ゆう子
 2105 海崎 泰治
 2106 安達 章子
 2107 田中 伸哉
 2109 小西 康宏
 2111 小田 義直
 2112 井上 輝彦
 2113 遠藤 泰志
 2114 鈴木 理
 2115 今井 美和
 2116 寺山 清美
 2117 森谷 鈴子
 2118 鈴木 宏明
 2119 北山 康彦
 2120 常山 幸一
 2121 廣瀬 茂道
 2122 宇月 美和
 2123 古田 朋子
 2124 酒井 剛
 2125 南口早智子
 2126 仲里 巖

2127 加賀田 豊
 2128 上田 佳世
 2129 三浦 康宏
 2130 田口 順
 2131 森山佐知子
 2132 嶋田 俊秀
 2133 中西 護
 2135 鈴木 秀郎
 2136 梅木 靖浩
 2137 重西 邦浩
 2138 赤松 裕子
 2139 緒方 衝
 2140 蒲池 綾子
 2141 竿尾 光祐
 2142 岩佐 葉子
 2143 藤井 博昭
 2144 今井 裕
 2145 服部日出雄
 2146 黒田 一
 2147 湧川 温子
 2148 柳井 広之
 2149 高場 恵美
 2150 平林 寧子
 2151 高川 清
 2152 田宮 貞史
 2153 狩野 華子
 2154 前沢 千早
 2155 上杉 憲子
 2157 松浦 恵子
 2160 加藤 圭
 2161 山崎 滋孝
 2162 外丸 詩野
 2163 片柳 和義

第10回 認定 1名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から3年間

認定番号 氏名

1341 入江 準二

第11回 認定 1名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

1426 菅 三知雄

第15回 認定 1名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から3年間

認定番号 氏名

1632 高橋 智

第16回 認定 1名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

1697 笠井 謙次

第21回 認定 1名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から4年間

認定番号 氏名

2051 矢持 淑子

4. 口腔病理専門医資格更新者氏名**第2回 認定 15名**

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

25 武田 泰典	35 岡田 憲彦
26 佐藤 方信	36 田島 義文
27 山本 浩嗣	40 賀来 亨
28 松本 康博	42 小宮山一雄
29 井上 孝	43 田中 陽一
30 下野 正基	44 坂井 英隆
31 山田 勉	45 高田 隆
32 渡辺 是久	

第7回 認定 2名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

82 松尾 拡	83 窪田 展久
---------	----------

第12回 認定 4名

更新期間 平成17年(2005年)4月1日から5年間

認定番号 氏名

102 宇都宮忠彦	104 清島 保
103 豊澤 悟	105 原田 博史

5. 平成17年度認定病院更新機関(第2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26回
166病院)

期間2年間 平成17年4月1日～平成19年3月31日

第2回 認可 (13施設)

認定番号 病院名

2005	山形県立中央病院
2006	(財)竹田綜合病院
3019	埼玉県立がんセンター
3020	(財)癌研究会有明病院
3021	JR 東京綜合病院
3022	国家公務員共済組合連合会虎の門病院
4007	新潟市民病院
4008	名古屋第一赤十字病院
4009	独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
5009	大阪府立急性期・総合医療センター
5010	独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院
7002	九州厚生年金病院
7003	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター

第4回 認可 (2施設)

認定番号 病院名

3028	日本赤十字社医療センター
4010	長野県厚生農業協同組合連合会佐久綜合病院

第6回 認可 (6施設)

認定番号 病院名

3035	越谷市立病院
3037	社会保険船橋中央病院
3039	綜合病院国保旭中央病院
3040	東京都立清瀬小児病院
4015	長野赤十字病院
5017	奈良県立奈良病院

第8回 認可 (9施設)

認定番号 病院名

3045	公立学校共済組合関東中央病院
3046	東京都立府中病院
4017	静岡県立綜合病院
4018	社会保険中京病院
5019	(財)日本生命済生会附属日生病院
5020	兵庫県立西宮病院
5021	兵庫県立淡路病院
6017	広島市立安佐市民病院
7009	佐賀県立病院好生館

第10回 認可 (10 施設)

認定番号	病院名
3002	群馬県立がんセンター
3052	伊勢崎市民病院
3054	東京都済生会中央病院
4024	長岡赤十字病院
4025	富士市立中央病院
4026	聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院
4027	富山県立中央病院
5012	(財)住友病院
5025	大阪府立母子保健総合医療センター
7011	北九州市立医療センター

第12回 認可 (11 施設)

認定番号	病院名
2012	(財)宮城厚生協会坂総合病院
3060	(株)日立製作所日立総合病院
3061	東京歯科大学市川総合病院
3062	東京都立墨東病院
3063	公立昭和病院
3064	恩賜財団済生会横浜市南部病院
4030	公立陶生病院
6019	松山赤十字病院
7012	特定医療法人雪の聖母会聖マリア病院
7013	熊本市立熊本市市民病院
7014	宮崎県立宮崎病院

第14回 認可 (11 施設)

認定番号	病院名
2015	(財)温知会総合会津中央病院
3069	茨城県立中央病院・地域がんセンター
3070	医療法人社団千葉県勤労者医療協会船橋二和病院
3071	東京都立大塚病院
3072	東京警察病院
3073	医療法人社団健全会立川相互病院
4034	藤枝市立総合病院
4035	松波総合病院
4036	三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院
5033	NTT 西日本大阪病院
6021	広島赤十字・原爆病院

第16回 認可 (7 施設)

認定番号	病院名
1010	JA 北海道厚生連旭川厚生病院
2016	山形市立病院済生館
2017	盛岡赤十字病院
3076	独立行政法人労働者健康福祉機構東京労災病院

3077	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院
5037	医療法人医仁会武田総合病院
7017	大牟田市立総合病院

第18回 認可 (13 施設)

認定番号	病院名
3079	総合病院土浦協同病院
3080	さいたま市立病院
3081	国立がんセンター東病院
3082	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院
4016	総合病院名古屋第二赤十字病院
4042	黒部市民病院
4043	豊橋市民病院
4045	小牧市民病院
5040	大阪市立総合医療センター
5041	独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
6023	島根県立中央病院
6024	高松赤十字病院
7019	佐世保市立総合病院

第20回 認可 (4 施設)

認定番号	病院名
3086	東京都立荏原病院
4047	聖隷三方原病院
5043	市立岸和田市民病院
5044	独立行政法人国立病院機構神戸医療センター

第22回 認可 (38 施設)

認定番号	病院名
1011	旭川赤十字病院
1012	国家公務員共済組合連合会幌南病院
2009	労働者健康福祉機構福島労災病院
2021	独立行政法人国立病院機構弘前病院
2022	独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院
2023	仙台市立病院
2024	東北厚生年金病院
2025	石巻赤十字病院
2026	秋田赤十字病院
3048	さいたま赤十字病院
3051	横須賀市立市民病院
3092	茨城県済生会水戸済生会総合病院
3093	独立行政法人労働者健康福祉機構鹿島労災病院
3096	(財)東京都保健医療公社大久保病院
3097	医療法人財団河北総合病院
3099	社会福祉法人恩賜財団済生会神奈川県病院
4003	愛知県がんセンター
4005	富山市立富山市民病院

4019	岐阜県立多治見病院
4050	社団法人山梨勤労者医療協会甲府共立病院
4051	諏訪赤十字病院
4053	沼津市立病院
4054	医療法人豊田会刈谷総合病院
4055	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター
5022	和泉市立病院
5024	市立豊中病院
5047	社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院
5048	東大阪市立総合病院
5049	公立豊岡病院
5051	日本赤十字社和歌山医療センター
6008	香川県立中央病院
6025	松江赤十字病院
6026	労働者健康福祉機構香川労災病院
6027	徳島赤十字病院
7008	鹿児島市立病院
7018	国家公務員共済組合連合会浜の町病院
7021	福岡赤十字病院
7022	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター

第24回 認可 (15施設)

認定番号	病院名
1006	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター
2029	米沢市立病院
3057	厚木市立病院
3104	独立行政法人国立病院機構栃木病院
3105	佐野厚生農業協同組合連合会佐野厚生総合病院
3106	桐生厚生総合病院
3107	富士重工業健康保険組合総合太田病院
4059	独立行政法人国立病院機構松本病院
4060	済生会新潟第二病院
5007	兵庫県立尼崎病院
5063	社会保険神戸中央病院
5064	神戸市立西市民病院
5065	滋賀県立成人病センター
7025	公立八女総合病院
7026	医療法人白十字会佐世保中央病院

第26回 認可 (27施設)

認定番号	病院名
1023	北海道立小児総合保健センター
1024	医療法人溪仁会手稲溪仁会病院
2032	青森市民病院
3047	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
3094	医療法人社団東光会戸田中央総合病院
3111	利根保健生活協同組合利根中央病院

3112	独立行政法人国立病院機構水戸医療センター
3113	埼玉県済生会川口総合病院
3114	社団法人北里研究所北里研究所病院
3115	社会福祉法人慈生会慈生会病院
3116	日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院
3117	川崎市立井田病院
3118	財団法人神奈川県警友会けいゆう病院
4044	袋井市立袋井市民病院
4066	愛知県厚生農業協同組合連合会昭和病院
4067	新潟県立新発田病院
4068	高岡市民病院
5068	彦根市立病院
5069	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
5070	医療法人社団洛和会洛和会音羽病院
5072	独立行政法人国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
5073	独立行政法人労働者健康福祉機構和歌山労災病院
5074	財団法人甲南病院加古川病院
6033	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
6034	高松市民病院
7032	千鳥橋病院
7033	医療法人社団新日鐵八幡記念病院

6. 平成17年度登録施設更新機関

(第2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26回
91病院)

期間2年間 平成17年4月1日～平成19年3月31日

第2回 認可 (5施設)

登録番号	病院名
3028	総合病院厚生中央病院
3029	川崎医療生活協同組合川崎協同病院
4022	静岡赤十字病院
4024	浜松赤十字病院
5018	(社)明石市医師会立明石医療センター

第4回 認可 (4施設)

登録番号	病院名
5024	公立南丹病院
6011	水島協同病院
6012	高知赤十字病院
7018	宮崎社会保険病院

第6回 認可 (7施設)

登録番号	病院名
2011	秋田県立脳血管研究センター
3036	医療法人社団順江会江東病院
4002	市立島田市民病院

4028 市立岡谷病院
 4030 高山赤十字病院
 7021 公立学校共済組合九州中央病院
 7025 総合病院鹿児島生協病院

第 8 回 認可 (4 施設)

登録番号 病院名

3051 埼玉社会保険病院
 3055 横浜市立みなと赤十字病院
 5034 西宮市立中央病院
 6016 下関市立中央病院

第 10 回 認可 (6 施設)

登録番号 病院名

3057 茨城県立こども病院
 3058 神奈川県厚生農業協同組合連合会伊勢原協同病院
 3060 神奈川県立循環器呼吸器病センター
 4042 名古屋記念病院
 5036 市立吹田市民病院
 7030 鹿児島市医師会病院

第 12 回 認可 (1 施設)

登録番号 病院名

4047 医療法人(社団) 中信勤労者医療協会松本協立病院

第 14 回 認可 (7 施設)

登録番号 病院名

2016 津軽保健生活協同組合健生病院
 5044 独立行政法人労働者健康福祉機構神戸労災病院
 5045 西脇市立西脇病院
 6018 岡山医療生活協同組合総合病院岡山協立病院
 6019 財団法人永頼会松山市民病院
 7033 国家公務員共済組合連合会新小倉病院
 7034 独立行政法人労働者健康福祉機構熊本労災病院

第 16 回 認可 (6 施設)

登録番号 病院名

4058 愛知県厚生農業協同組合連合会加茂病院
 4060 稲沢市民病院
 6022 徳島県立中央病院
 7037 福岡市立こども病院・感染症センター
 7038 独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
 7039 医療法人同心会古賀総合病院

第 18 回 認可 (9 施設)

登録番号 病院名

3078 東芝病院

4064 長野県立こども病院
 4065 土岐市立総合病院
 4066 半田市立半田病院
 5049 医療法人川崎病院
 6024 鳥取市立病院
 6025 独立行政法人国立病院機構福山医療センター
 6029 済生会今治病院
 7040 鹿児島県立大島病院

第 20 回 認可 (2 施設)

登録番号 病院名

4073 済生会松阪総合病院
 5054 ベルランド総合病院

第 22 回 認可 (12 施設)

登録番号 病院名

1018 苫小牧市立総合病院
 2010 岩手県立宮古病院
 4076 独立行政法人国立病院機構長野病院
 4077 医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院
 5060 公立甲賀病院
 5062 医療法人誠光会草津総合病院
 5065 医療法人きっこう会総合病院多根病院
 6002 国家公務員共済組合連合会広島記念病院
 6037 独立行政法人国立病院機構善通寺病院
 6038 社会福祉法人済生会松山病院
 6039 済生会西条病院
 6040 愛媛県立今治病院

第 24 回 認可 (10 施設)

登録番号 病院名

1021 江別市立病院
 1022 滝川市立病院
 3088 公立藤岡総合病院
 3089 国保八日市場市民総合病院
 3091 神奈川県厚生農業協同組合連合会相模原協同病院
 3092 医療法人財団石心会川崎幸病院
 4083 磐田市立総合病院
 4084 長野県厚生農業協同組合連合会小諸厚生総合病院
 5068 社会福祉法人恩賜財団済生会京都府病院
 6041 独立行政法人国立病院機構高知病院

第 26 回 認可 (18 施設)

登録番号 病院名

1023 独立行政法人労働者健康福祉機構岩見沢労災病院
 2025 市立秋田総合病院
 2026 みやぎ県南中核病院

- 2027 公立気仙沼総合病院
 3096 社会保険群馬中央総合病院
 3097 群馬県済生会前橋病院
 3098 浦安市市川市民病院組合浦安市川市民病院
 3099 社会保険山梨病院
 4087 社会福祉法人聖霊会聖霊病院
 4088 医療法人偕行会名古屋共立病院
 4089 医療法人社団志聖会犬山中央病院
 4090 国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院
 5074 独立行政法人国立病院機構滋賀病院
 5075 医療法人宝生会 PL 病院
 5077 鐘紡記念病院
 6044 公立学校共済組合中国中央病院
 6045 財団法人津山慈恵会津山中央病院
 6046 高知医療センター

7. 会員のご逝去

以下の方がご逝去された。

新保幸太郎 名誉会員 (平成 17 年 4 月 26 日ご逝去)

お詫び

会報 207 号に掲載した第 10 回常任理事会報告におきまして、同 1 頁 1 の「近畿・中部地区の市民公開講座の開催」となっておりましたが、「近畿地区の市民公開講座の開催」の誤りであったので、訂正させていただきます。

関係各位に大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

お知らせ

1. 黒住医学研究振興財団第 13 回 (平成 17 年度) 研究助成金の募集について

申込み締切り：平成 17 年 6 月 30 日

連絡先：(財) 黒住医学研究振興財団 事務局
 〒 113-8408 文京区本郷 1-33-8
 栄研化学 (株) 内
 TEL：03-3812-3173 FAX：03-3813-2206
 E-mail：info@kmf.or.jp

2. 平成 17 年度「日本医師会医学賞」並びに「日本医師会医学研究助成費」候補の推薦について

申込み締切り：平成 17 年 7 月 5 日

連絡先：日本医師会生涯教育課
 〒 113-8621 文京区本駒込 2-28-16
 TEL：03-3946-2121

3. ファイザーヘルスリサーチ振興財団研究助成の募集について

申込み締切り：平成 17 年 7 月 8 日

連絡先：ファイザーヘルスリサーチ振興財団事務局
 TEL：03-5309-6712

4. 第 25 回札幌がんセミナー国際がんシンポジウムについて

会 期：平成 17 年 8 月 2 日～8 月 4 日
 会 場：山形グランドホテル
 連絡先：山形大学内
 〒 990-9585 山形市飯田西 2-2-2
 TEL：023-628-5309 FAX：023-628-5311
 E-mail：seminar@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

5. 2005 年度電子顕微鏡技術認定試験について

試験日：平成 17 年 10 月 15 日
 会 場：東京 (慈恵医大)、京都 (京大医学部)、福岡 (産業医大)
 連絡先：日本顕微鏡学会事務局
 〒 113-0033 文京区大塚 3-11-6
 TEL：03-5940-7640 FAX：03-5940-7980
 E-mail：kenbiky@r-sipec.jp

日本病理剖検輯報への新規登載の希望がございましたら、7 月 31 日までに事務局宛ご連絡下さい。日本病理学会認定病院および登録施設の認可には、登載されていることが条件となっております。

社団法人日本病理学会事務局 TEL：03-5684-6886 FAX：03-5684-6936
 E-mail：jsp@ma.kcom.ne.jp



日本医学会だより

JAMS News

日本医学会 2005年5月 No.33

◆日本医学会あり方委員会

日本医学会あり方委員会は、日本医学会の活動を見直すために新設した。平成16年度は、各分科会の「日本医学会に関するアンケート」に基づいた検討の結果、まず、社会に発信することの重要性が挙げられた。そして、今年度から新規事業として、公開フォーラムを開き、市民の方に医療をより身近なものとして捉えていただき、ともに考えていくことを企画した。

◆第1回日本医学会公開フォーラム

「医学・医療の今—痛に挑む—」をテーマに、2005年10月8日(土、13:00~16:00)に日本医師会館大講堂で開催の予定。

組織委員は、垣添忠生国立がんセンター総長、江口研二東海大学教授、五阿弥宏安読売新聞東京本社社会部長の各氏である。

希望者は日本医学会宛、郵便はがきでお申し込みください。

◆第129回日本医学会シンポジウム

「うつ病」をテーマに、2005年6月16日(木)、日本医師会館大講堂において開催。組織委員は、樋口輝彦国立精神・神経センター武蔵病院院長、久保木富房前東京大学教授、上島国利昭和大学教授、稲葉裕順天堂大学教授の各氏。参加希望者は、郵便はがきでお申し込みください。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。

I. 基礎・病態

1. うつ病の脳科学的研究の現状/山脇成人(広島大・神経精神医学)

2. うつ病の病前性格・心因・状況因/坂元薫(東京女子医大・神経精神科)
3. 抗うつ薬の作用機序を探る/神庭重信(九州大・精神病態医学)

II. 診断

1. 軽症うつ病の診断(プライマリ・ケア医へのメッセージ)/熊野宏昭(東大・心療内科)
2. うつ状態の鑑別/坪井康次(東邦大・心療内科)
3. うつ病症状の捉え方/野村総一郎(防衛医大・精神科学)

III. 治療

1. うつ病の薬物療法/中村純(産業医大・精神医学)
2. 精神療法/大野裕(慶應大・保健管理センター)
3. プライマリ・ケア医と精神科医との連携/尾崎紀夫(名古屋大・精神医学)
4. 職場復帰支援/島悟(東京経済大経営学部・社会精神医学)

◆医学賞・医学研究助成費

平成17年度日本医師会医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月号に公示。要項概略は以下のとおり。詳細は本会にお問い合わせください。推薦期間：5月15日～7月5日。

医学賞：1. 日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげた研究者を対象とする。2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計3名に授与

する(副賞は1名500万円)。3. 推薦は、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長により各部門1名以内。

医学研究助成費：1. 日本医師会会員が行う医学上将来性に富む研究を対象とする。2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ15件に授与する(1件150万円)。3. 推薦は、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長により各部門1名以内。

今年度から推薦先に大学附属病院長(本院)と都道府県医師会長が加わった。

◆第72回日本医学会定例評議員会

定例評議員会を、平成17年2月23日に開催した。議題は、1. 第27回日本医学会総会の準備状況、2. 平成16年度日本医学会年次報告、3. 平成17年度日本医学会事業計画、4. 平成16年度日本医学会新規加盟学会、5. 日本医学会あり方委員会中間まとめ等である。

高久会長からは、次のとおりの挨拶があった。「日本医学会長を、昨年4月から務めている。日本医学会が、今まで行ってきた主なことは、日本医学会総会の開催、一般シンポジウムの開催、医学用語辞典の編集などであり、そのほか必要に応じて日本医学会としての意見を表明してきた。しかし、もう少し日本医学会の存在を医学界自体のなかに、さらには医学界の周りの方に知っていただく必要があるのではないかとの意見があった。

そこで会長就任後、日本医学会あり方委員会を発足させ、日本医学会のあり方についていろいろ討議した。また各分科会にアンケート調査をし、その結果などを参照しながら、日本医学会の今後のあり方を日本医学会役員ならびに評議員会の方々のご相談を申し上げながら、ある程度の方向性を示したいと考えている」

なお、新規加盟学会については、本年度、日本臨床細胞学会が加盟した。

◆第27回日本医学会総会

総会は「生命と医療の原点—いのち・ひと・夢—」をテーマに掲げ、2007年4月6日～8日に、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)、リーガロイヤルホテルで開催する。展示は3月31日～4月8日に、大阪城ホールを予定。

岸本会頭は定例評議員会で「医学・医療は、問題が山積している。一般社会にもよく理解してもらい、若い人たちにも興味を持ってもらい、この分野へ入ってくる契機になるような会にしたい。専門の医学の知識の交換だけではない会を考えている」と述べた。

また、堀準備委員長は「総会の精神は、原点回帰を図り、生命の「いのち」、尊厳としての「ひと」、将来のビジョン「夢」、という言葉に集約した。コンパクトであるが感動体験を与えるような企画を考えている。また近畿地区で同時期に開催の分科会は、現在、日本内科学会をはじめ13学会から申し入れがあるが、今後、増えるものと期待している。ご協力を賜りたい」と述べた。

詳細は、総会のホームページ <http://www.isoukai.jp/> をご覧いただきたい。

◆医学用語

日本医学会医学用語管理委員会(開原成允委員長)の行う主な事業には、「日本医学会医学用語辞典」の改訂、文部科学省「学術用語集医学編」の編纂、厚生労働省「標準傷病名」の改訂作業への協力がある。「学術用語集医学編」を除いては、今後も継続的に行っていく。

まず、「日本医学会医学用語辞典 英和」の改訂を行う。従来の辞書は、「アルファベット配列のため、同義語、下位語がわからない」などの問題があることから、今回の改訂では、見出し語をMeSHの用語コードを付して対応がとれるようにする。

また、厚生労働省「標準傷病名」の今後の作業方針としては、新規追加要望のあったものと、明白な修正要望から優先的に処理を行う。

Pathology International

日本病理学会は Blackwell Publishing Asia の協力により、会員には *Pathology International* の全論文を *Blackwell Synergy* 上でご覧いただけるようオンライン化しました。現在 1999 年以降発行の論文がオンライン上でご利用可能ですので、是非お試しください。

- ◆ 最初に Step1、Step2 の順で登録手続きに伴う入力作業が必要になりますが、2回目からは Step3 の方法で閲覧できます。
- ◆ Synergy ご登録後も *Pathology International* の印刷紙面版は従来通りお手元に届きます。

Step1: Synergy サービスへの新規登録

1. オンライン閲覧にあたり、まず、個人登録が必要です。
<http://www.blackwell-synergy.com>
のアドレスを入力すると、Home の画面が出ます。右上の Register をクリックし、Registration の画面を出します。メッセージにしたがい個人登録を完了してください。*印の項目には回答する必要があります。ここで登録する Username と Password は会員個人でご自由に設定いただいて結構です。しかし、以降のご利用時には常に必要となりますので、入力された Username と Password は控えをとって覚えておいてください。登録必要事項入力の後、一番下にある “Register” をクリックしてください。
2. 右上の My Synergy をクリックしてください。そこで最初に登録した Username と Password を入力し、Login をクリックされると、それぞれの会員の Homepage が開きます。

Step2: 会員特別登録

1. ここからは会員だけの特別登録です。この登録は一度だけ手続きをしてください。My Synergy のページに出ている “Access” をクリックしてください。画面の下段の “Office Codes” に PIN2005 と入力し、Continue をクリックしてください。
2. “Last name” に 6 桁の会員番号を入力してください。(例: 123456)
[会員番号は学会からの郵便物の宛名ラベルの右下方に表示されています。]
3. “Membership number or ID” に再度会員番号を入力してください。
(例: 123456)
4. “Continue” をクリックしてください。“Journal title” から *Pathology International* をクリックして閲覧してください。

Step3: 登録時以降のご利用

<http://www.blackwell-synergy.com> をアドレス入力し Home の画面を出す。Step1 の個人登録で登録した Username と Password を入力し、Login をクリックしてください。名前が表示されましたら、My Synergy をクリックし、次の画面で “Journal title” から *Pathology International* をクリックして閲覧ください。

ご質問・お問い合わせは下記までご連絡ください。

Blackwell Publishing Asia
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
TEL:03-5215-3051
FAX:03-5215-3052
email: Tokyo@blackwellpublishingasia.com